

2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年5月11日

上場会社名 株式会社エーワン精密 上場取引所 東
 コード番号 6156 URL <http://www.a-one-seimitsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 哲也
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 哲也 (TEL) 042-363-1039
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の業績 (2019年7月1日~2020年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	1,367	△13.3	374	△24.6	380	△24.5	263	△24.4
2019年6月期第3四半期	1,578	5.4	496	12.2	504	11.2	348	2.4
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年6月期第3四半期	109.65		-					
2019年6月期第3四半期	145.09		-					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	8,938	8,297	92.8
2019年6月期	9,006	8,227	91.4

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 8,297百万円 2019年6月期 8,227百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	-	0.00	-	70.00	70.00
2020年6月期	-	0.00	-	-	-
2020年6月期(予想)	-	-	-	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の業績予想 (2019年7月1日~2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,850	△11.2	456	△28.3	466	△28.1	314	△29.7	131.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年6月期3Q	3,000,000株	2019年6月期	3,000,000株
② 期末自己株式数	2020年6月期3Q	600,752株	2019年6月期	600,752株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年6月期3Q	2,399,248株	2019年6月期3Q	2,399,248株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な景気減速の影響を受け停滞しました。

中国に端を発した新型コロナウイルスにより日本の自動車メーカーなどの国内外の工場が一時的に操業停止になり、関連する量産部品加工に減産の影響が出ました。自動車部品加工業界は中小企業も含めて減産となりました。一方で通信の5G規格に対応し半導体生産は回復基調になり、半導体製造装置もやや増加しました。今後、電子デバイス・産業用機器などで使用される半導体は増加すると予想され、それらのデバイス・機器の生産や開発、設備投資などで動きはありました。

国内製造業全体としては、高水準の受注があった一昨年から比べ昨年は受注がやや減少し、今年はさらに減少傾向となり段階的に受注水準は切り下がってきました。今年の3月末までの受注は、年初からのやや下がった水準で横ばいとなりました。3月末の景況感は、欧米はじめ世界各国での都市封鎖や外出禁止で急速に悪化しました。

このような状況のなかコレットチャック部門では、期初の7月は前期より低い水準でスタートし8月さらに落ち込みましたが、その後やや戻し、月ごとに受注量は増減を繰り返しながら、平均すると前期よりも低い水準で横ばいとなりました。これは顧客企業の量産部品加工のロット数が減少したことが要因と思われます。

この結果、当セグメントの第3四半期累計期間の売上高は959,002千円（前年同期比14.4%減）、セグメント利益は481,242千円（前年同期比19.9%減）となりました。

切削工具部門では、7月は前期並みの受注でスタートしましたが、8月は大きく落ち込み、9月はやや戻しましたが、10月からは緩やかな動きとなり前期より低い水準での横ばいとなりました。顧客企業の量産部品加工が減少し、また設備、治具などの単品加工も減少しました。

この結果、当セグメントの第3四半期累計期間の売上高は387,655千円（前年同期比11.7%減）、セグメント利益は94,100千円（前年同期比20.6%減）となりました。

自動旋盤用カム部門では、カム式自動旋盤を使用する部品加工が継続してあり、当社への受注はやや増加しました。

この結果、当セグメントの第3四半期累計期間の売上高は21,111千円（前年同期比9.5%増）、セグメント利益は11,326千円（前年同期比37.7%増）となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,367,769千円（前年同期比13.3%減）、営業利益は374,463千円（前年同期比24.6%減）、経常利益は380,584千円（前年同期比24.5%減）、四半期純利益は263,085千円（前年同期比24.4%減）となりました。

セグメント別の売上は、以下のとおりであります。

(%表示は対前年同期比)

事業部門別	期別	第29期 第3四半期 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)		第30期 第3四半期 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)		第29期 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
コレットチャック部門		1,119	(107.4)	959	(85.6)	1,470	(103.5)
切削工具部門		439	(100.7)	387	(88.3)	587	(99.3)
自動旋盤用カム部門		19	(99.7)	21	(109.5)	26	(96.7)
合計		1,578	(105.4)	1,367	(86.7)	2,084	(102.2)

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、7,371,476千円(前事業年度末は7,409,379千円)となり37,902千円の減少となりました。これは、仕掛品が20,113千円、製品が1,717千円、原材料が928千円増加しましたが、受取手形及び売掛金が57,770千円、現金及び預金が962千円減少したこと等によるものであります。

また当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,567,418千円(前事業年度末は1,596,671千円)となり29,252千円の減少となりました。これは、機械装置及び運搬具が12,271千円、繰延税金資産が9,683千円、土地が4,665千円増加しましたが、投資有価証券が35,831千円、建物及び構築物が20,739千円減少したこと等によるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末における総資産は、8,938,895千円(前事業年度末は9,006,050千円)となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、162,404千円(前事業年度末は303,037千円)となり140,632千円の減少となりました。これは、未払法人税等が111,812千円、未払金が16,542千円、役員賞与引当金が5,800千円減少したこと等によるものであります。

また、当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、478,804千円(前事業年度末は475,417千円)となり3,387千円の増加となりました。これは、役員退職慰労引当金が1,710千円、退職給付引当金が1,677千円増加したことによるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は、641,208千円(前事業年度末は778,454千円)となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、8,297,686千円(前事業年度末は8,227,595千円)となり70,091千円の増加となりました。これは、その他有価証券評価差額金が25,046千円減少しましたが、利益剰余金が95,137千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、2020年1月14日発表の業績予想どおりとなる見込みであります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,758,282	6,757,320
受取手形及び売掛金	449,266	391,496
製品	1,778	3,496
原材料	30,454	31,382
仕掛品	169,876	189,989
その他	215	409
貸倒引当金	△494	△2,617
流動資産合計	7,409,379	7,371,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	477,231	456,492
機械装置及び運搬具(純額)	500,739	513,010
土地	328,869	333,534
その他(純額)	2,200	2,410
有形固定資産合計	1,309,040	1,305,447
無形固定資産	1,691	2,513
投資その他の資産		
投資有価証券	125,765	89,933
長期前払費用	780	445
繰延税金資産	159,373	169,056
その他	1,026	1,078
貸倒引当金	△1,006	△1,058
投資その他の資産合計	285,939	259,457
固定資産合計	1,596,671	1,567,418
資産合計	9,006,050	8,938,895
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,074	16,169
未払金	107,727	91,184
未払法人税等	122,308	10,496
役員賞与引当金	16,000	10,200
その他	39,926	34,353
流動負債合計	303,037	162,404
固定負債		
退職給付引当金	359,967	361,644
役員退職慰労引当金	115,450	117,160
固定負債合計	475,417	478,804
負債合計	778,454	641,208

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	292,500	292,500
資本剰余金	337,400	337,400
利益剰余金	8,413,222	8,508,360
自己株式	△841,335	△841,335
株主資本合計	8,201,787	8,296,924
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,808	762
評価・換算差額等合計	25,808	762
純資産合計	8,227,595	8,297,686
負債純資産合計	9,006,050	8,938,895

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)
売上高	1,578,343	1,367,769
売上原価	857,331	786,885
売上総利益	721,011	580,884
販売費及び一般管理費	224,059	206,420
営業利益	496,952	374,463
営業外収益		
受取利息	454	491
受取配当金	2,780	2,999
売電収入	3,032	2,062
その他	817	566
営業外収益合計	7,085	6,120
経常利益	504,037	380,584
特別利益		
固定資産売却益	-	73
特別利益合計	-	73
特別損失		
固定資産除却損	0	70
特別損失合計	0	70
税引前四半期純利益	504,037	380,587
法人税、住民税及び事業税	165,600	116,400
法人税等調整額	△9,658	1,102
法人税等合計	155,941	117,502
四半期純利益	348,096	263,085

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益計 算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,119,989	439,070	19,283	1,578,343	—	1,578,343
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,119,989	439,070	19,283	1,578,343	—	1,578,343
セグメント利益	601,031	118,555	8,224	727,810	△230,858	496,952

(注)1 セグメント利益の調整額は、製造部門共通費△6,799千円と主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益計 算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	959,002	387,655	21,111	1,367,769	—	1,367,769
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	959,002	387,655	21,111	1,367,769	—	1,367,769
セグメント利益	481,242	94,100	11,326	586,668	△212,204	374,463

(注)1 セグメント利益の調整額は、製造部門共通費△5,784千円と主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

株式分割

当社は、2020年4月27日開催の取締役会において株式分割による新株式の発行を行う旨の決議をしております。当該株式分割の内容は、次のとおりであります。

1. 目的

株式分割を行い投資単位当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を図ることを目的とするものであります。

2. 株式分割の割合及び時期

2020年6月30日(火曜日)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を2020年7月1日付けで、1株につき2株の割合で分割いたします。

3. 分割により増加する株式数

普通株式 3,000,000株

4. 前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合における(1株当たり情報)の各数値はそれぞれ次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり四半期純利益	72円54銭	54円82銭